

令和5年9月13日

第78回 法人企業景気予測調査結果（四国地方の概要） （令和5年7～9月期調査）

企業の景況判断は2期連続で「上昇」超

全産業の景況判断BSI（7～9月期）については、原材料価格やエネルギー価格の高騰による影響がみられるものの、**価格転嫁の進展**や自動車関連の受注が回復したことなどから、1.5%ポイント（前回の1.0%ポイントから0.5%ポイント上昇）となり、「上昇」超幅が拡大。

先行き（翌期）については、原材料費や電気代といったコストの増加を懸念する声があるものの、引き続き価格転嫁の進展や需要の回復などを見通し、「上昇」超幅が拡大。

製造業：前回▲9.7%ポイント ⇒ 今回 ▲5.6%ポイント（4.1%ポイント上昇、下降超幅が縮小）

「はん用機械」：原材料価格の高騰などから下降超に転じた。

「金属製品」：価格転嫁の進展や新規受注の増加から上昇超に転じた。

「生産用機械」：価格転嫁の進展や自動車関連の受注の回復から下降超幅は縮小した。

非製造業：前回7.1%ポイント ⇒ 今回 5.4%ポイント（1.7%ポイント下降、上昇超幅が縮小）

「建設」「卸売」：価格転嫁の進展などから上昇超に転じた。

「運輸」：電気代等のコスト増加などから上昇超幅は縮小した。

「金融、保険」：電気代等のコスト増加などから下降超に転じた。

(%ポイント)

企業の景況判断BSIの推移

